

表面・国会見学バスツアー
・政労使合同会議
・組織拡大セミナー
裏面・東北復興支援ボランティア
・授産施設訪問研修
・OB会 歴史探訪交流会

とちぎ

電機連合栃木地方協議会機関紙
発行者：印南 幸裕
編集者：近澤 良一
事務局：☎ 329-1105
栃木県宇都宮市中岡本町 2784-3 飛鳥ビル 2F
TEL：028-671-3333 FAX：028-673-7777

政治部 国会見学 バスツアー

4月21日（土）、政治部初の試みとして国会見学バスツアーを開催しました。憲政記念館を見学後参議院会館に入り、本会議場や天皇陛下の控え室、そして普段滅多に入れない予算委員会室なども見学しました。



その後、谷参議院議員から直近の国会情勢報告を受け、混迷極まる政局を実感しました。

次の目的地である本所防災教育センターでは、昨年の震災以降、自然災害への備えの環境として、地震・暴風雨・煙の模擬体験を行いました。今回の企画は、私たちの生活にどうにかかせない政治についてもっと関心を深めようとの思いから、一般組合員およびその家族を対象に参加を呼びかけたものです。これを期に将来立派な政治家を目指す子供たちが出てくれればと期待するものです。

政治部

本郷 文男



政治部 政労使合同会議

5月18日（金）、政労使合同会議を宇都宮市内のホテルにて開催しました。

講演については最初に電機連合元中央執行委員長鈴木勝利様から「労働組合の使命と労使関係を考える」と題し、不都合な真実にも正面切つて向き合つていかなければならないと、ご自身の出身組合である東芝労組時代からのさまざまな闘争経験などを熱く語って頂きました。

栃本地協「政労使合同」



次の講演は、参加する・しないで国が二分しそうな「TPP」



問題など日本と諸外国の経済連携についての課題を経済産業省の志村和俊様から、非常に分かり易い解説をしていただきました。

鈴木氏の講演は、私などストライキを知らない世代にとつて改めて労使関係の重要性を実感させられた内容でした。経産省の志村氏の講演では日本と周辺諸国との貿易の実態から、TPPを含めた経済連携のあり方など分かりやすい解説で理解を深めました。

政治部

本郷 文男

組織部 拡大セミナー

4月24日（火）、全労済栃木県本部において、組織部主催による拡大セミナーを開催しました。



開催にあたっての目的は、「組織部による組合組織強化を考える」というもので、組合立ち上げの経緯事例報告を踏まえ、受講組合役員として組織強化の重要性などを見につけて頂くなど、一定の成果が得られたものと考えます。

また労働組合役員として必要な労働法に関するお話を本部組織

部の内田中央執行委員にしていたいただきました。こういった話を組合役員になる方が聞く事は基礎的な役員知識の向上につながると確信をしています。

組織部

瓦井 芳幸

いまの時代に
生きる安心を、
一人ひとりへ。

安心して生きていく。自分も、家族も。

こくみん共済

個人型国民年金・こくみん共済年金・国民健康保険・国民年金基金・国民年金保険料の滞りなく納付・国民年金保険料の滞りなく納付・国民年金保険料の滞りなく納付

全労済は、福利を目的としない保障の仕組みとして
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとり
ある暮らしを応援しています。お困りごとを相談し
いただくと、各都道府県共済の組合員になれば、
各種共済をご利用いただけます。

全労済
全国労働組合共済生活協同組合連合会

ZENROSAI



7月6日（金）、宮城県気仙沼市にて東北復興支援ボランティアを行いました。青年・女性部員10名が参加しました。

当日は、直前の台風の影響で海辺に打ち上げられた木材やゴミを撤去する作業に従事しました。猛暑の中、慣れない姿勢での作業や重量物の運搬など大変な作業となりました。

が、多くの瓦礫を撤去することができました。震災から1年以上が経過し、ボランティアの人数が減つてきているという話は以前から聞いていました。実際に足を運んでみると、被災地は変わり果てた状況のままであり、まだま

多くの支援が必要であると感じました。今回ボランティアに参加された皆さんが、肌で感じた被災地の現状を周りに伝え、今後の被災地のさらなる復興に向け、自ら進んで行動して頂きたいと考えます。

青年女性部長

菱沼 良一



福祉対策部 授産施設 訪問研修

福祉対策部では、授産施設への訪問研修を活動の柱として取り組んでいます。県内を3地域に分け、班ごとのブロック活動として進んでいます。



一例として、県南ブロックで訪問した「わらしべの里」（栃木市）について紹介します。「わらしべの里」は就労支援施設で、比較的軽度な知的障がい者の方が通所して、オリジナル製品の生産や企業の下請け業務などに従

事しています。オリジナル製品の「さをり織り」は色彩もカラフルで、従事される方はものづくりの楽しさを通じて、社会参加する喜びを感じていました。また、給食センターなどから食用油を回収し、バイオディーゼル燃料を生産して、市のゴミ収集車の燃料として供給していました。



福祉対策部では、福祉を取り巻く環境と現状を知ること、部員の見識と問題意識を高め、物的な支援が必要であれば「地球・愛の基金」を活用させていただきます。

福祉対策部

高橋 嘉朗

役員OB会 歴史探訪交流会



恒例となりました電機栃木地協役員OB会「歴史探訪交流会」を、4月17日（火）、小山市周辺の地域において、現役地協役員を含め23名参加者の中、開催しました。

小山市の隣の結城市に所在する「結城城址公園」を散策後、「結城紬（つむぎ）伝統工芸館」などを視察して、その後「さくら日本園」で満開の桜を鑑賞し、まさに歴史と伝統そして春本番を体感することができました。

事務局長

田村 至男